

平成24年度 科学技術重要施策アクションプラン 概要

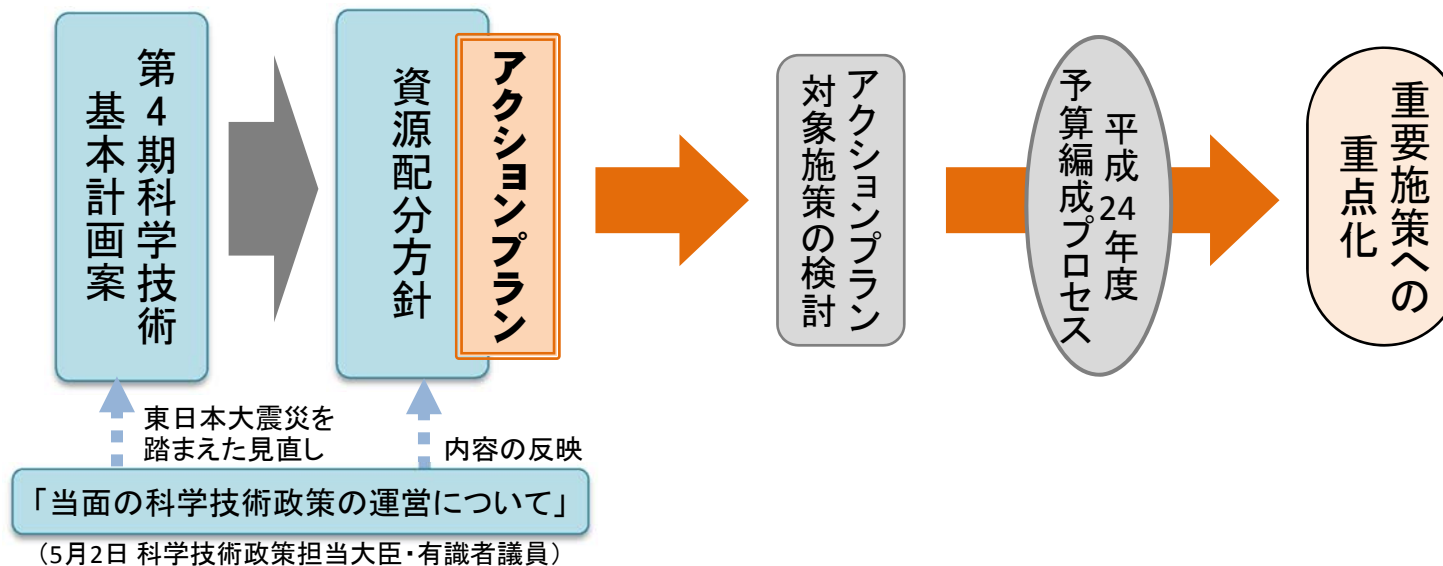
平成23年7月29日

科学技術政策担当大臣

総合科学技術会議有識者議員

1. アクションプランのねらい

- アクションプランのねらいは、最も重要と考えられる施策の方向性を概算要求前に示すことによって、政府全体の科学技術予算の重点化を誘導することである。
- 平成23年度予算編成において初めて実施。先行的に、グリーン及びライフの二大イノベーション、並びに競争的資金の使用ルール等の統一化を対象とした。
- 平成24年度予算編成においては、アクションプランを最も重要な政策誘導ツールの一つとして位置づけ、アクションプラン対象施策への科学技術予算の最重点化を図る。



2. 平成24年度アクションプランの内容

4つの重点対象を設定

東日本大震災を
踏まえた新たな
柱として設定

復興・再生並びに 災害からの安全性向上

- 東日本大震災からの復興・再生を遂げ、地域住民がより安全に暮らせる社会の実現を目指す。
- 東北地域の復興・再生をモデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を実現する国を目指す。

我が国の現状を
踏まえて内容を見直し

グリーンイノベーション

- 自然と共生し持続可能な環境・エネルギー先進国の実現を目指す。

ライフイノベーション

- 心身ともに健康で活力ある社会の実現を目指す。
- 高齢者・障がい者が自立できる社会の実現を目指す。

新たに追加

基礎研究の振興及び 人材育成の強化

- 世界共通の課題を克服し、豊かな国民生活を実現し、科学技術を文化として育み、多様な人材を育成確保する社会の実現を目指す。

2. 平成24年度アクションプランの内容

復興・再生並びに災害からの安全性向上

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組		
		地震	津波	放射性物質による影響
<p>・東日本大震災からの復興・再生を遂げ、地域住民がより安全に暮らせる社会</p> <p>・東北地域の復興・再生をモデルとして、より安全、かつ豊かで質の高い国民生活を実現する国</p>	災害から命・健康を守る	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生時に必要な情報の住民へのより正確かつ迅速な伝達 地震で倒壊したガレキや崩れた土砂からのより迅速な人命救助 	<ul style="list-style-type: none"> 発生した津波の情報のより迅速、正確な把握 避難情報のより迅速、的確な住民への伝達と避難行動の促進 津波現場からのより確実な人命救助 被災者に対するより迅速で的確な医療の提供と健康の維持 	<ul style="list-style-type: none"> 放射性物質による健康への影響に対する住民の不安を軽減するための取組 <p>⇒・食品、水の放射性物質による影響の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質により汚染された大量の災害廃棄物等の安全かつ低コストな処理 モニタリング情報のより正確でわかりやすい住民への伝達
	災害から仕事を守り、創る	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業および製造業施設の耐震性能の向上 産業施設の火災等の二次災害防止機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 津波被害からの農場・漁場の早期再生 強い競争力をもつ新しいかたちでの農林水産業の再生 	<ul style="list-style-type: none"> 農地・森林等における放射性物質のより効果的・効率的な除染 農水産物、産業製品の放射性物質のより迅速な計測・評価および除染
	災害から住まいを守り、造る	<ul style="list-style-type: none"> 既存建造物の耐震性、耐火性の向上 新設建造物の耐震性、耐火性の飛躍的向上 より低コストな液状化被害防止 	<ul style="list-style-type: none"> 地理的条件を考慮した住まいの配置とまちの設計による津波被害の軽減 大量の災害廃棄物のより迅速、円滑な処理 	<ul style="list-style-type: none"> 避難対象区域の治安及び地域コミュニティの維持
	災害からモノ、情報、エネルギーの流れを確保し、創る	<ul style="list-style-type: none"> 地震災害時に必要な物資を必要な場所に運ぶ物流の確保 地震災害時に必要な情報のより迅速かつ確実な伝達 地震災害時の電力、ガス、上下水道のより迅速な機能回復 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な物資を津波による孤立地域に的確に運ぶ物流の確保 津波で通信が途絶した地域での必要な情報の確保 津波による停電地域を最小限にでき、より迅速に復旧可能な電力の供給 	<ul style="list-style-type: none"> 放射性物質のより迅速な計測・評価および除染による、生産から消費における円滑な流通の確保

2. 平成24年度アクションプランの内容 グリーンイノベーション

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組
自然と共生し持続可能な 環境・エネルギー先進国	クリーンエネルギー供給 の安定確保	技術革新による再生可能エネルギーの飛躍的拡大
	分散エネルギーシステムの 拡充	革新的なエネルギー創出・蓄積 技術の研究開発
		エネルギーマネジメントの スマート化
	エネルギー利用の革新	技術革新による消費エネルギー の飛躍的削減
	社会インフラのグリーン 化	地域特性に応じた自然共生型の まちづくり

2. 平成24年度アクションプランの内容 ライフイノベーション

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組
心身ともに健康で活力ある社会の実現	先制医療(早期医療介入)の推進による発症率の低下	ゲノムコホート研究と臨床関連情報の統合による予防法の開発(継続)
	がん、生活習慣病の合併症等の革新的な診断・治療法の開発による治癒率の向上等	がんの早期診断、治療技術の研究開発(肺、膵、肝がんは継続)
		糖尿病等の生活習慣病の合併症に特化した予防、診断、治療に関する研究開発(新規)
		うつ病、認知症等の精神・神経疾患の診断マーカーの探索及び画像診断法の開発とそれに基づいた発症予防、早期診断、進行遅延(新規)
	身体・臓器機能の代替・補完	再生医療研究開発(新規)
優れた医療技術の開発促進	医薬品、医療機器、再生医療等の新たな医療技術開発を促進するためのレギュラトリーサイエンス※の推進(新規)	
高齢者・障がい者が自立できる社会の実現	介護・自立支援	高齢者・障がい者の機能代償・自立支援技術開発(継続)

※ 科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づいた確かな予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会との調和の上で最も望ましい姿に調整するための科学

2. 平成24年度アクションプランの内容

基礎研究の振興及び人材育成の強化

目指すべき社会の姿	政策課題	重点的取組
<p>世界共通の課題を克服し、豊かな国民生活を実現し、科学技術を文化として育み、多様な人材を育成確保する社会</p>	<p>世界トップレベルの基礎研究の強化</p>	<p>科学技術イノベーションに資する世界トップレベルの基礎研究ハブと国際的な連携ネットワークの形成</p>
	<p>独創的で多様な基礎研究の強化</p>	<p>競争的資金に関する執行の柔軟性の向上、競争的資金の審査等の制度改革、国民への情報発信の強化</p>
	<p>科学技術を担う人材の育成</p>	<p>若手研究者のためのテニユアトラック制の普及、定着</p>

3. 検討スケジュール

※概算要求が例年通りの日程で行われる場合の想定

